

保護者の皆様

学校教育自己診断の結果のお知らせ

厳寒の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校教育にご理解・ご支援を賜り有難うございます。

さて、12月にご協力いただきました「学校教育自己診断」の結果についてお知らせいたします。今回の診断結果や昨年度までの結果を基に、これからの学校運営や生徒の学習指導等に生かして参りますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

【アンケート回収率】

- ・生徒 : 374名 / 390名
- ・保護者 : 190名

1. 全体的な傾向について「%」

	対象	質問項目	①	②	③	④
1	生徒	先生はあなたのよいところを認めてくれる。	63%	32%	4%	1%
		【①+②の昨年比 +4P】 「昨年度」	53%	38%	6%	3%
	保護者	子どもは自分に良いところがあると思っている	52%	39%	8%	1%
		【①+②の昨年比 ▲1P】 「昨年度」	49%	43%	7%	1%
2	生徒	先生はあなたの意見や考えを大切にしてくれる	64%	30%	3%	3%
		【①+②の昨年比 ±0P】 「昨年度」	59%	35%	4%	2%
	保護者	先生は子どもの意見や考えを大切にしている	45%	45%	8%	2%
		【①+②の昨年比 ±0P】 「昨年度」	33%	57%	8%	2%
3	生徒	落ち着いた雰囲気の中で授業に参加することができている	35%	41%	19%	5%
		【①+②の昨年比 ▲5P】 「昨年度」	43%	38%	15%	4%
	保護者	学校は落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている	24%	61%	11%	4%
		【①+②の昨年比 ±0P】 「昨年度」	28%	57%	11%	4%
4	生徒	授業はわかりやすい	41%	48%	9%	1%
		【①+②の昨年比 ▲2P】 「昨年度」	64%	27%	5%	4%
	保護者	先生はわかりやすい授業づくりに努力している	29%	59%	8%	3%
		【①+②の昨年比 ▲2P】 「昨年度」	29%	61%	9%	1%
5	生徒	家で、学校の授業の予習・復習をしている	26%	32%	23%	19%
		【①+②の昨年比 ▲6P】 「昨年度」	25%	39%	22%	4%
	保護者	子どもは家で家庭学習をしている	37%	33%	20%	9%
		【①+②の昨年比 ▲3P】 「昨年度」	38%	35%	18%	9%

①「あてはまる」②「どちらかというにあてはまる」③「どちらかというにあてはまらない」④「あてはまらない」

○全体的な傾向についての概要

本校の学校教育目標は『変化する社会にたくましく生きる人を育てる ～感じよう! 考えよう! 行動しよう!～』です。現在の世の中はAIの急激な進化や技術革新に伴い、社会全体の構造が激しく変化しています。あるシンクタンクの調査によりますと、日本の労働人口の49%がコンピュータで代替可能になるとレポート発表しています。

このような社会において、子ども達は今までに培ってきた知識を礎としながら、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断する力や自ら課題を見出し、その課題について解決をめざし、さらに他者と協働しながら新たな価値を生み出していく力が求められます。したがって今年度も「非認知能力向上(物事に対する考え方、取り組む姿勢、行動など、日常生活・社会活動において重要な影響を及ぼす能力:挑戦、尊重、自分事、そうぞうする、協働する批判的に考える、比較・検討する)」を重点目標として学校運営を行ってきました。

今年度の振り返りとして、生徒や保護者からのアンケート結果をもとに分析し、次のとおり報告させていただきます。

○先生はあなたのよいところを認めてくれる(生徒質問)、子どもは自分に良いところがあると思っている(保護者質問)

生徒の肯定的評価が95%と昨年度より4ポイント増加しました。一方、保護者の肯定的評価は91%と昨年度より1ポイント減少しました。どちらも90%と高い数字ですが、今後も生徒とのコミュニケーション向上を更に強化し、様々な場面において生徒たちの良いところをタイミングよく褒める教職員の肯定的評価活動を進めてまいります。

○先生はあなた(子ども)の意見や考えを大切にしてくれる(生徒、保護者質問)

生徒の肯定的評価が94%、保護者の肯定的評価は90%であり、どちらも90%と高い数字です。引き続き、生徒の意見や考えを重視した授業や対応を行います。

○落ちついた雰囲気の中で、授業に参加している(生徒、保護者質問)

生徒の肯定的評価が76%で昨年度より5ポイント減少しました。また、保護者の肯定的評価は85%で昨年度との変化はありません。本校は4人班の活用を含め生徒同士の学び合いを行っています。しかし、班学習が苦手な生徒もいます。したがって今後は、ディスカッションと講義のメリハリをつけて、学習中の雰囲気づくりを強化します。

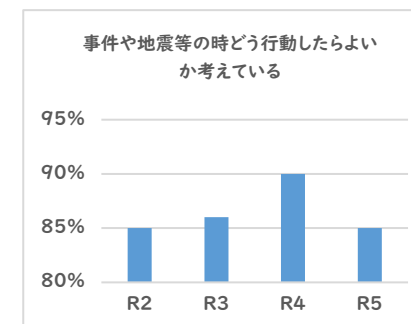
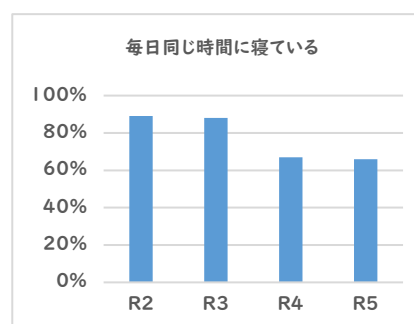
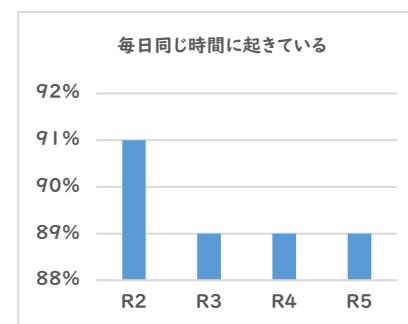
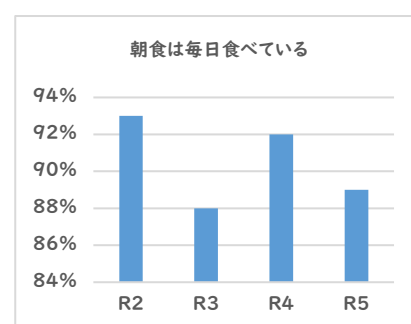
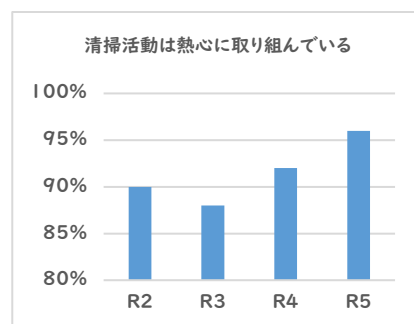
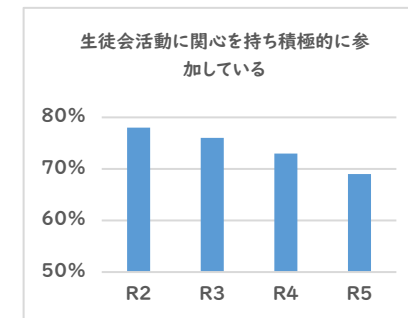
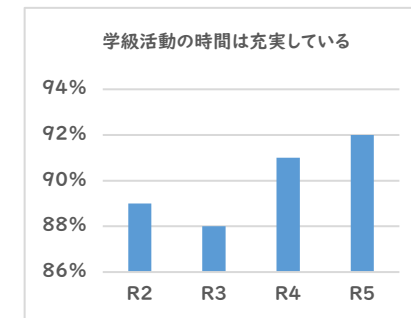
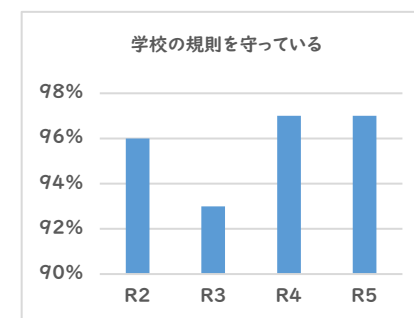
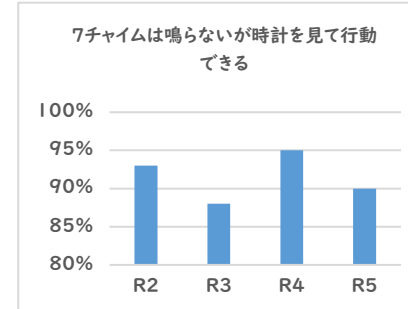
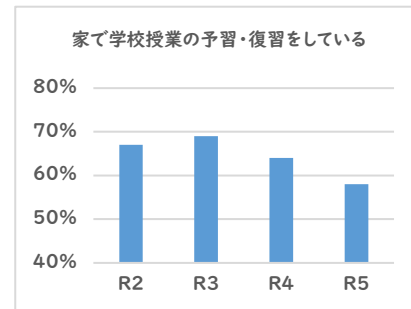
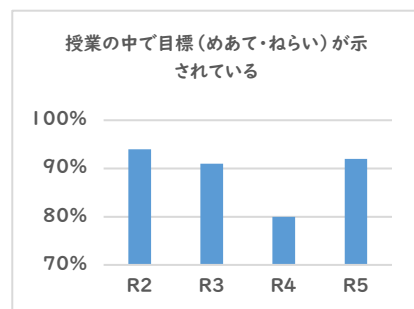
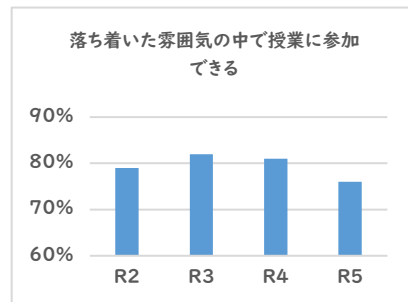
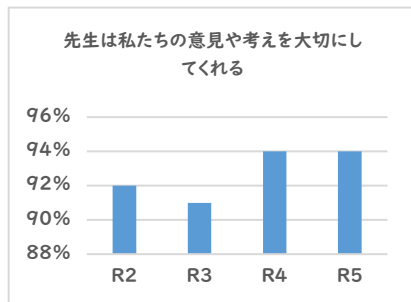
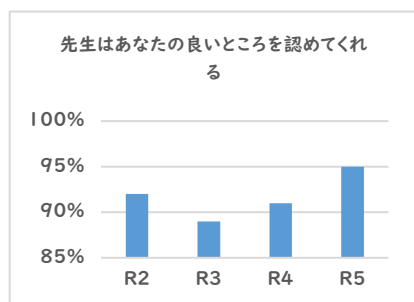
○授業はわかりやすい(生徒、保護者質問)

生徒の肯定的評価が89%、保護者の肯定的評価は88%であり、どちらも前年度に比べて2%減少しています。次年度はPBL(Project Based Learning:生徒が自ら課題を発見して解決する能力を養うための授業)も取り入れるなどの工夫も検討していきます。

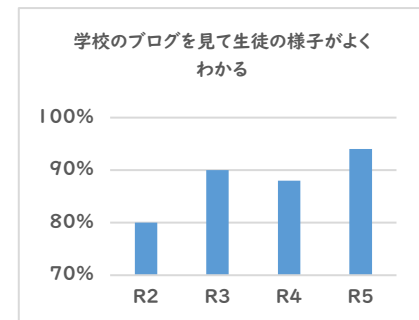
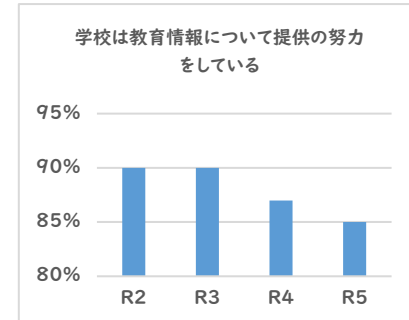
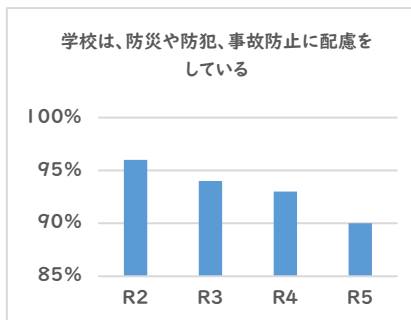
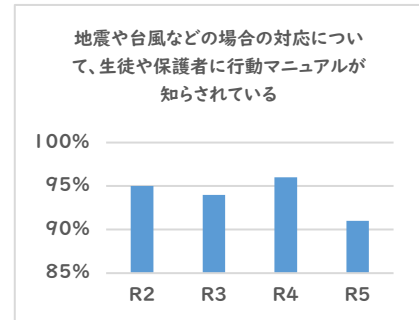
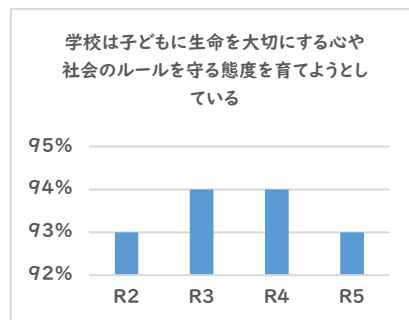
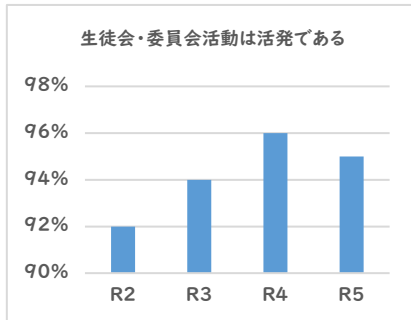
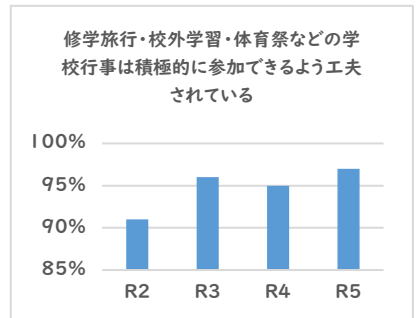
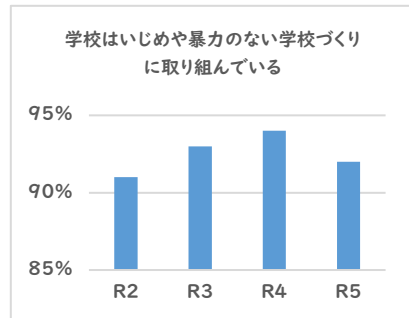
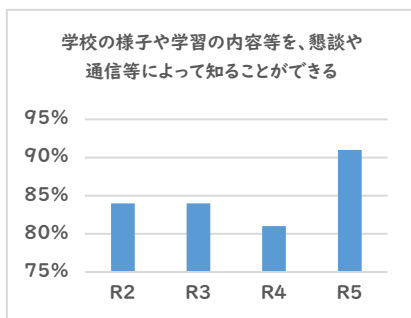
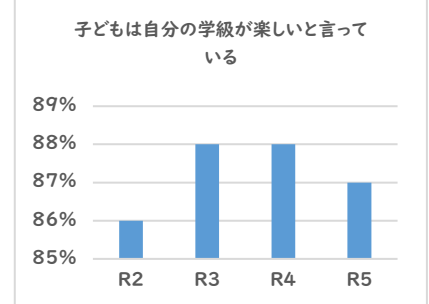
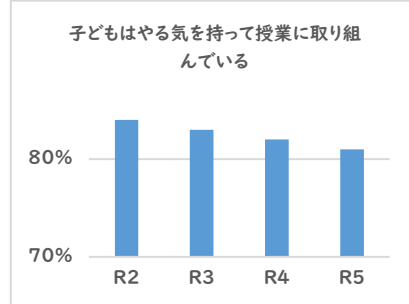
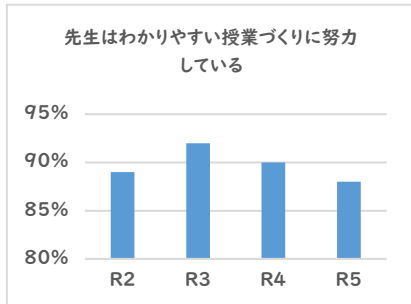
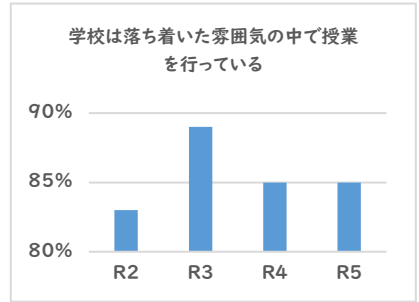
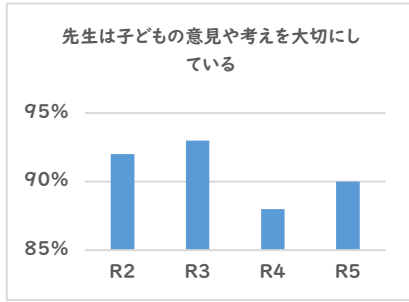
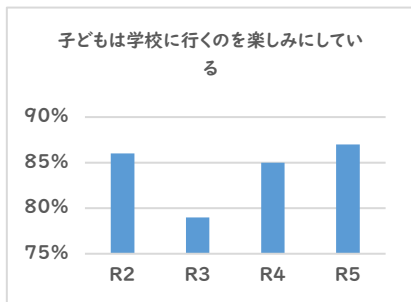
○家で学校の授業の予習・復習をしていますか(生徒質問)

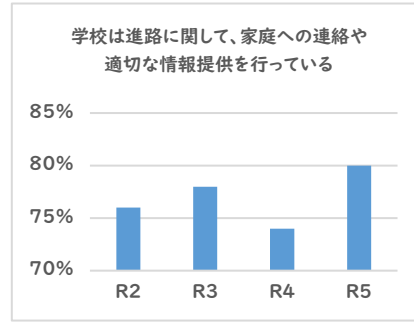
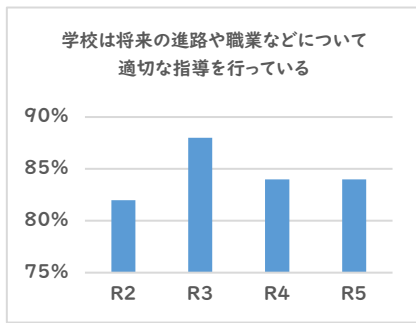
生徒の肯定的評価が58%と昨年度より6ポイント減少しました。関連する質問で「家庭での学習(宿題)は授業とつながっていると思いますか?」については89%でした。家庭学習の重要性は理解していると思われるので、再度生徒達にも話をしたいと思います。

2. 生徒のアンケート結果について(経年比較)



3. 保護者アンケートについて(経年比較)





4. ご意見の欄について

保護者アンケートでは、「授業づくり」「生徒対応」についての改善要望を多くいただきました。授業づくりについては、校内研修や外部講師招聘による指導助言により、更なる授業力向上を行います。また、生徒対応時の言葉遣いについてのご指摘もありました。これについては真摯に受け止めて改善してまいります。今後は、生徒の人権尊重や状況・背景を理解しての対応を行います。授業づくりや生徒対応につきましては、生徒とのコミュニケーションが重要と考えています。今後はこのコミュニケーションの重要性を再確認して取り組みます。

次に、「保護者への配布文書時には、みるメール等で教えてほしい」「進路の情報はこまめに情報提供してほしい」との要望も数点ありました。これについても対応を行いたいと思います。

保護者の皆様から嬉しい言葉もいただいています。「暖かく見守っていただき、子どもの意志を尊重してくださっていると感じております。ありがとうございます。」「色々と悩むこともあったと思いますが、3年間、おおむね楽しく元気に学校へ通えたのはひとえに先生と友達のおかげです。大変お世話になりました。」「このような言葉は教職員一同励みになります。多くの生徒や保護者からこのように感じていただけるように、今後も頑張っていく所存でございます。

保護者の皆様から多くのご意見をいただきました。これらのご意見を真摯に受け止め、生徒たちが充実した学校生活が過ごせるよう、更なる改善策を講じながら魅力ある学校づくりを進めてまいります。しかし、学校だけでは解決できない問題も多々ありますので、ご家庭や地域コミュニティーのご協力を改めてお願いいたします。

最後になりましたが、「学校での学び」の大切さを実感しながら、「変化する社会にたくましく生きる人を育てる」を合言葉として、学力に加えて非認知能力（協働する、そうぞうする、批判的に考える、比較・検討する、挑戦、尊重、自分事）の成長を目標に今後も取り組んでまいります。